

CSR経営の成果

ステークホルダーとのコミュニケーション

情報開示の推進

当社では、金融商品市場の公正性と健全性に資することを目的として、重要な会社情報をステークホルダーの皆様へ迅速かつ正確・公平に開示するため、適時開示やインサイダー情報の管理等に関する社内規則を制定し、周知徹底しています。

情報開示責任者(社長室長)は、適時開示に該当すると思わ

れる事項を、管理部門を通じて報告させるほか、重要な会社情報が生じた場合には、東京証券取引所の定める有価証券上場規程に基づき、「決定事実」は会社が決議した時点、「発生事実」は会社が発生を認識した時点で速やかに開示しています。

投資家への開示の推進

当社では、第2四半期決算と本決算の年2回、アナリストや機関投資家を対象とした決算説明会を開催し、当社の業績や現況、今後の経営戦略などについて経営トップが自ら説明しており、説明会資料は、当社Webサイトにてご覧いただけます。

また、国内外のアナリストや機関投資家の要請に応え、IRに関する個別ミーティングやスモールミーティングのほか、2017年度は「末吉配水池更新工事」(所在地：横浜市)の現場見学会も開催しました。

あわせて、東京証券取引所の開示基準に基づいた開示情報をTDnet(適時開示情報伝達システム)にファイリングする

とともに、当社Webサイトの「株主・投資家情報」ページにも掲載しています。



配水池内で説明を行った現場見学会

各種展示会への出展

全国の各種展示会で、当社が開発した環境負荷低減技術や震災復旧・復興技術、構造物の品質向上や耐震化などの技術を紹介しています。そして、お客様をはじめとするステークホルダーの皆様へ、当社の技術や取り組みをわかりやすく紹介し、ご理解いただけるよう努めています。

2017年度は「EE東北'17」など全国地方整備局関連の展示会に加えて、新たに「2017NEW環境展」や「ハイウェイテク

フェア2017」にも出展したほか、展示会と併設開催の技術発表会にも積極的に参加し、技術をより詳しく説明できる機会を活用しました。

11月には技術研究所で「安藤ハザマ技術フェア2017」を開催しました。2日間で約900名の方々をお迎えし、「体験・体感型」の展示を中心に、最新技術を含む44の技術を披露しました。

開催時期	展示会名	主催	開催地
2017年 5月	2017NEW環境展	日報ビジネス株式会社	東京
2017年 6月	EE東北'17	EE東北実行委員会	仙台
2017年 7月	コンクリート工学年次大会2017	公益社団法人日本コンクリート工学会	仙台
2017年10月	建設技術フェア2017 in 中部	国土交通省中部地方整備局、名古屋国際見本市委員会	名古屋
2017年10月	建設技術展2017近畿	日刊建設工業新聞社、一般社団法人近畿建設協会	大阪
2017年11月	(1)けんせつフェア北陸 in 新潟2017 (2)2017建設リサイクル技術発表会・技術展示会	(1)けんせつフェア北陸 in 新潟2017実行委員会 (2)建設副産物リサイクル広報推進会議、北陸地方建設副産物対策連絡協議会	新潟
2017年11月	建設技術フォーラム2017 in HIROSHIMA	建設技術フォーラム実行委員会	広島
2017年11月	ハイウェイテクノフェア2017	公益財団法人高速道路調査会	東京
2017年11月	平成29年度 新技術・新工法説明会	国土交通省九州地方整備局	宮崎